



表現者 矢野眞 天空に舞う

我々の手伝いは、今回の「矢野眞 遺作展」で、2回目になります。初回は1988年9月、「矢野眞 仏画チャリティー展」(横浜市)。この時は、精神障害者の地域作業所(横浜市)の支援協力でした。お国替えされて、最初の個展(遺作展)、これも何かのご縁なのでしょう。

また、手伝わせて頂くこととなりました。

矢野眞先生の仕事は多種多彩で、絵を描き、建築をデザインし、舞台美術も手掛けられ、作り上げるものすべてが、先生にとっての表現のように思われました。

『表現者』の終の住処であったアトリエにお伺いした時は、既に病を負われていましたが、仕事の道具が絵画のようにセットされていたことが、とても印象的でありました。

是非、多くの方にお越し願いたい。

M.C.ケンタウロス代表 飯田修永



矢野 眞 プロフィール

- 1932年 福岡に生まれ
生後すぐ神戸市に転居
- 1945年 第二次大戦の神戸空襲で、逃げ惑いながら多くの死にゆく人達を見る。
終戦と同時に油絵を始める。
- 1949年 鎌倉へ
- 1954年 若手の芸術集団「JACの会」創設
- 1957年 文化学院美術科卒業
- 1958年 澁澤道子(澁澤龍彦の妹)と結婚
- 1960年 銀座文藝春秋画廊、夢土画廊、鎌倉などで個展
- 1975年~ 仏画を描き始める
- 1985年 ウィーン市主催「千手観音と二十八部衆」
- 1991年 パリJAL支店画廊オープン記念仏画個展
フランクフルトJAL支店企画仏画個展
- 1993年 ベルリンJAL支店企画仏画個展
- 1995年 震災神戸への「チャリティー仏画展」
- 1994年 鎌倉松林堂画廊、日本橋壺中居、銀座ポーラ画廊
鎌倉安国論寺展「五十飛天」「百八飛天」等発表
- 2000年 千葉夷隅町田園の美術館主催、「釈迦八相図と仏像たち」
その他：建築設計、インテリア・エクステリア・都市計画デザイン、グラフィック・パッケージ等デザイン、舞台美術、装丁、挿絵
- 2012年 11月3日生涯を閉じる

矢野 眞 遺作展

■主催 M.C.ケンタウロス

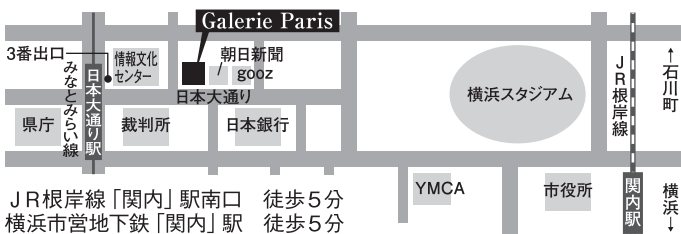
2013.4.7(日)~4.11(木)

7日 16:00~ 8~11日 11:00~18:00

7日(日) パーティー 会費 2,000円(お土産付)

*日曜日は通用口からの入館になります。

ギャラリーパリ Galerie Paris
〒231-0021 横浜市中区日本大通14 三井物産ビル1階
TEL.045-664-3917
<http://www.galerieparis.net/>



JR根岸線「関内」駅南口 徒歩5分
横浜市営地下鉄「関内」駅 徒歩5分
みなとみらい線「日本大通り」駅 3番出口すぐ

渋沢 道子(本名: 矢野 道子) プロフィール

- 1933年 東京に生まれる
- 1956年 東京大学仏文学科卒
その後、吉原幸子氏らと詩誌「ヴェガ」を創刊する。
子供のためのオペラ「青い鳥」の作詩
- 1958年 矢野眞と結婚
- 1984年 葉山一葉会で連句の会「煽動」主宰。
句集「集音機」自費出版
日本農業新聞に中編童話と神奈川の民話連載
- 1989年 「曼陀羅華」の作詩
- 1989年 日蓮宗新聞に短編童話連載
- 1955~2009年まで、銀座文藝春秋画廊などで、矢野眞と詩画展